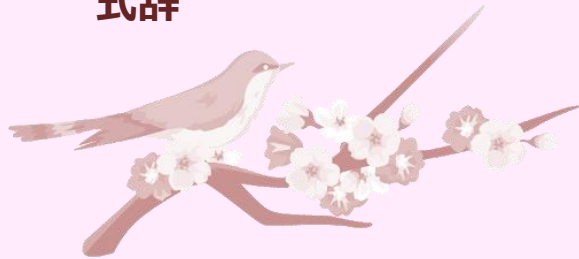


## 第29回卒業式

### 式辞



校長代行 堤 英治



帝京ロンドン学園第29期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様方も、来賓の方も、お運びいただきありがとうございます。全世界的なコロナウイルス感染症の影響により、多数の保護者の方々にご参加願えなかったのは、返す返すも残念で、痛恨の極みです。

しかし、卒業生の皆さんには、ここ英国という海外の地で、寮生として、そして通学生として青春を過ごしたという、かけがえない財産があります。楽しかったことばかりではなかったでしょう。つらいことも、悔しいこともあったと思います。けれども、その経験がすべて、皆さんの輝かしい未来への糧となると私は信じています。

これから皆さんは進学をし、就職をしていきます。そこで、つらいこと、楽しいこと、悔しいことなど色々あると思います。もし、つらいことや悔しいことがあったら、この学校で共に学んだ友達の顔を思い出してください。そしてお世話になった先生の顔を思い出してください。でも、最も思い出してほしいのは、皆さんを愛して育ててくれた保護者の方の顔です。今日残念ながら出席できなかった方もいらっしゃると思いますが、皆さんが最も感謝すべきは、保護者の方です。皆さんはこれからの人生、保護者の方への感謝の気持ちを胸に、生きていってください。人は、自分のためではなく、他人のために生きるとき、最も純粋になれる。皆さんは、そう生きてください。

国際化が叫ばれている今、海外旅行ではなく、海外で生活するという経験を身に付けた君たちは、きっと将来の日本のトップランナーになってくれると信じます。建学の精神の基本にある、たゆまざる努力・豊かな人間性・人の痛みを分かち合う心・国際的視野に立つ知識という土台を、君たちは身に付けています。その自信を持って、これからの将来に、挑戦してください。自分を信じれば、夢は叶います。

自分を信じて  
夢を信じて  
そして友を信じて下さい。



これをもって私の式辞とさせていただきます。



## 送辞

教室の窓から差し込む日差しにも春の気配を感じることができるようになりました。3年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。

思えば2年前、右も左も分からぬ私たちに最初に優しく声をかけてくれたのが先輩方でした。ロンドンへの外出では、切符の買い方一つから丁寧に教えていただき、とても安心したのを覚えています。その後、体育祭や文化祭などの学校行事を通して、先輩方の存在感は日増しに大きくなっていました。体育祭では、練習の時から常に強いリーダーシップで私たちを引っ張ってくださいました。特に、20人21脚では、先輩方の掛け声のもと私たちも全力を尽くすことができました。盛り上がった体育祭は、帝京ロンドン学園史上初の赤白引き分けという結果となりました。文化祭では、チームワークの良さに驚かされました。短い準備期間の中で物事を計画的に進め、積極的に役割を果たそうとする姿から、多くのことを学びました。研修旅行やその他の行事でも、普段お話できないようなことを話すことができ、より一層憧れが強くなっていました。

これから先輩方は、一人一人が選んだ夢に向かって進んでいかれます。その道で困難に直面する時がくるかもしれません。その時は仲間と過ごしたかけがえのない日々や、本校で学んだことを生かして乗り越えていってください。

最後となりますが、卒業生の皆様のご健康と、益々のご発展を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和2年3月5日 在校生代表



## Farewell Speech

On behalf of all the students I would like to say congratulations to all the third graders on your graduation.

It was you who called out to us when we first arrived here and knew nothing. I remember that you taught us how to buy tickets to go to London and I felt relieved that someone was there to support us. It was you that helped us when it seemed like we didn't know right from left two years ago.

Through the school events such as the sports day or the school festival, we felt impressed by you. These events were fun because you showed us how to lead. In particular, I remember that through your support we were able to make every possible effort in the races. In the end, it was a draw between red and white, the first time in Teikyo School's history.

In the school festival, I was surprised by the team effort. Everybody worked positively and helped each other. Even though I am quiet, I could talk with you about the school trips and other events and my admiration for you became stronger.

You will soon be moving ahead to follow each of your dreams. There will be times of confrontation and difficulty. I hope you will make use of the things you have learned with us, your friends, to get over these problems and achieve whatever you put your mind to.

Finally, I hope that you can stay healthy and continue to learn and grow. I wish you all the best on your graduation.

## 答辞

本日は私たち卒業生のためにこのような盛大な式を挙げていただき、ありがとうございます。また、ご多忙の中ご出席くださいましたご来賓の皆様、先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、卒業生一同心から御礼申し上げます。

入学してから仲間とともに過ごした3年間は本当にあつという間でした。初めての海外での生活、初めての寮生活に、最初は戸惑うことが多くありました。しかし、寮生活をしていく中で、かけがえのない友人を得ることができました。皆と食堂で食事を共にする事、寮内で皆と楽しくゲームをし、時には真面目な話をした事、ピッチやジム、体育館で一緒に汗を流す事、そんな、クラスの仲間と過ごした何気ない日々も今となってはかけがえのない時間に思えます。過ぎ去ったこの学園での日々が短く感じられるのは、この国、この学園で過ごした毎日の生活がそれだけ充実していて、濃厚なものだったという証だと思います。そんな日々が今日で終わることを考えると、寂しい気持ちでいっぱいです。

私たちのクラスは、すぐに友達にちよっかいを出すなど、揉め事や意見の対立が多く、喧嘩することも多々ありました。体育祭のときにはダンスの曲がなかなか決まらなかったり、練習に参加する人数が少なかったり、最初はうまくいきませんでした。しかし、最後にはいいものを完成させられたと思っています。1、2年生の時にはどちらも準優勝という結果に終わりましたが、今でも一番だと思っています。そんな友人たちとともに遊び、そして勉強に励んだ時間はとても楽しく、有意義で、この上なく贅沢なものでした。

在校生の皆さん。皆さんと過ごした日々も私たちにとってはかけがえのない思い出となっています。ありがとう。高校の3年間という時間はあつという間に過ぎていきます。それぞれの目標に向かって後悔のないように生活してください。また不満や苦しいこと、壁にぶつかることがあると思いますが、辛い時にも同じ志を持つ仲間と、それをサポートしてくださる方がいることを忘れずに、イギリスにいる高校生として残された貴重な時間を悔いのないものにしてください。とてもお手本になれるような先輩ではなかったけれど、ついてきてくれてありがとう。

また、僕たちをそばで支えてくださった先生方。元気がありすぎて少しうるさいクラスで、たくさんの迷惑をかけたと思います。毎日の授業だけでなく寮生活や進路指導など、親身になって面倒をみていただき本当にありがとうございました。

また、このような経験を積む機会を作ってくれた両親には本当に感謝しています。親元を離れて生活したからこそ、両親の存在の大きさを改めて痛感しました。この3年間は特に苦勞をかけたけど、支えてくれてありがとう。普段は言葉にすることはありませんが本当に感謝しています。

私たちは今日、この学園を卒業します。卒業に際して喜びを得る一方で、友人たちとの別れに寂しさを感じずには入られません。しかし、いつまでも過去を名残惜しむことはできません。程なくして私たちはそれぞれの道を歩み始めます。今後、大きな壁にぶつかったとしてもこの学園で得た多くの思い出や経験、学びを人生の糧とし、力強く生きていきます。

最後になりますが、先生方のご指導、職員の皆様の助け、そして暖かく見守ってくれた家族があって初めて、本日、こうして卒業式を迎えることができました。卒業生を代表して、私たちを支え、導いてくださった全ての方に心より御礼申し上げます。そして帝京ロンドン学園のさらなる発展を願い、答辞と致します。

令和2年3月5日 第29回卒業生代表





## Speech of Thanks

First of all, we would like to say thank you for holding such a magnificent graduation ceremony for us. We would also like to express our appreciation to everyone who came here today. We are extremely delight to see you all.

Thinking back to the entrance ceremony, I made a speech as a first year representative. At that time, I was anxious because I couldn't imagine the people sitting in front of me as my classmates and that I would spend time with these people for the next three years. Probably everyone thought the same feeling as me. However, the time has flown so quickly.

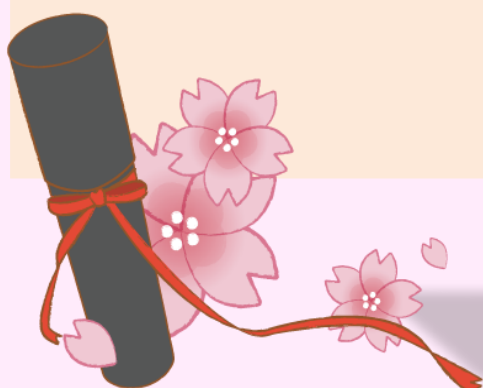
When we were first year students, we made toothpick art. We didn't think we could finish it, but we managed to finish. In the second year we had many opportunities to visit other countries. Personally, Italy was the most memorable field trip because wherever we looked, we could be impressed by art and history. In the final year, we focused on the next stage of our lives. Sometimes, we needed to make hard decisions. However, we could overcome this and now here we are.

In Teikyo we had such wonderful experiences. These experiences will be a great fortune for us. And now I'm making a speech as a representative of the graduating students. I'm standing in front of my classmates but this time I'm not worried, I'm really proud of my friends because we worked together whenever we needed help. We respected each other's individuality and we grew up together.

From this spring, we will move on to separate paths. Someday it is likely we face obstacles. It is at such times that our experience in Teikyo will help us to overcome these problems.

For students in the first and second year, the world is always changing. In the UK, there are many topics which are being watched around the world so you are now at the centre of that change. Most Japanese people can't see the actual circumstances of the UK but you can. What you have seen or done here will connect to your future so look carefully at the world around you.

Finally, we'd like to say thank you to the teachers, staff and family. Without your help we couldn't have achieved anything so again thank you to you all.



## 学園の日々より

### 水曜コース（英国理解）

2月19日には皆が楽しみにしていた Peter Rabbit のテーマの Afternoon Tea を体験してきました。この日のために Tale of Peter Rabbit を読み、映画も鑑賞しました。マクレガーさんの庭がテーマの人参のサンドイッチや、全てチョコレートで出来た鉢植えのデザートはなかなか凝っていて、皆から喚声が上がっていました。昨年の秋に湖水地方に研修旅行に出かけ、ベアトリックス・ポッターの住んでいた家を訪ねたばかりだったのも幸いでした。（久保）



### 3年生外出

3年生は普通授業の合間に近所の Black Park や Gerrards Cross の町にお茶に出かけました。2月27日最後の授業には Garden Centre にも出かけてきました。この国の Garden Centre には植物やガーデン道具だけでなく、衣服、文房具、食品も売られていて、カフェもあります。この日に出かけた場所には魚や爬虫類も売られていて、皆驚いていました。英国人の多くがこれから暖くなる季節は、週末にこういったガーデンセンターで時間を費やし、美しい English Garden 作りに精を出します。3年生の最後の授業に皆とお茶ができて良かったです。英国で過ごした高校生活の思い出を大切にしてください。（久保）



### サッカーコース・部



サッカーコース、サッカー部の2019年度の活動が終わりました。「Bucks 優勝」というチーム目標を掲げて1年間活動してきましたが、今年も昨年と同じ準決勝で敗れる結果となりました。テスト期間中の試合のため、コンディションを整えるのが難しかったと思いますが、よく戦いました。またアウェイゲームにも関わらず多くの生徒、教職員が応援に駆けつけてくれました。その中で試合ができたことは、選手たちにとっていい経験になったと思います。結果は2-3で敗れましたが、試合後にはやり切った表情を見せてくれたことは指導者としてもとても嬉しい瞬間でした。3年生は卒業になりますが、1年生・2年生は、今まで築き上げた帝京ロンドン学園サッカー部をさらにいいものへ変えていき、次年度こそは州大会優勝へ導いてほしいと思います。

そして卒業した3年生諸君、帝京ロンドンで経験した楽しいことやつらいことは、これからの人生で必ず生きてくるはず。これからは今までよりも厳しいこともあると思いますが、自分に自信をもって人生を送ってほしいと思います。また、どんなカタチでもいいので、サッカーというスポーツに関わってほしいと思います。卒業おめでとう！

最後になりますが、今年度もサッカーコース、サッカー部の活動を支えてくださった保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。（三谷）



## Pancake Day sale

2月26日

キリストが復活するイースターの40日前からは、質素な食事や極端な粗食を目指すLentという風習がありました。イギリスではこのLentをスタートするため、家の中にある小麦粉、卵、ミルクを使い切ってパンケーキを作る風習が今でも残っています。イギリスのパンケーキは日本のクレープのように薄く、伝統的には砂糖とレモンの絞り汁で食します。

2月26日にリチャード先生の水曜コースの生徒がパンケーキを作り販売し、その収益金をチャリティーに寄付する企画を行いました。チョコレート、苺、バナナ、アイスクリームなど日本風のトッピングを添えた美味しいパンケーキを販売し、売り上げは£23.50となりました。その売上金は、英国の老人のためのチャリティー団体Age Concernに寄付をしました。このコースでは、このAge ConcernとBarnardo's（恵まれない子供たちを救うチャリティー団体。先学期、寄付をしました）が行うチャリティーショップに、生徒がボランティアに出かけています。（久保）

### 3年生クラス会 3月4日（水）

卒業式を翌日に控えた3月4日、最後の3学年クラス会を開催しました。1学期はピザパーティー、2学期はKFCパーティーと、デリバリー企画で来ていたクラス会でしたが、今学期は、生徒の希望で自分たちで料理する形にしました。念願だった鍋をはじめ、チーズサーモントースト・チーズタッカルビ・照り焼きチキン・ソーセージ焼き・フライドチキン・ピザなど、参加した3年生全員で協力して作りました。なんだかんだ言っても最後にはみんなで協力して取り組み、楽しく事を成し遂げるといって、とても「3年生らしい」クラス会となりました。（初田）

### 2年生クラス会 3月4日（水）

様々なことがあった一年間、みんな楽しく過ごせましたか？時にもめることは当然のこと、それでも明るく笑顔が絶えないクラスだったと思います。今年のテーマは、『1%の努力』です。これは昨日と比べて101%の自分を過ごせば、1年後には今の約37.8倍もの大きさになっているということ。皆さんが自分に誇りを持てる人でありますように！

1年間ありがとうございました。（遠藤）

### 1年生クラス会 3月3日（火）

学年末考査が終了したこの日、2種類の鍋を囲んでのクラス会を行いました。女子が手際よく材料を切り、男子はコップやフォークなどを用意して、あっという間に熱々の鍋が完成しました。今年度をもって転校していく生徒もいますので、このメンバーで行う1年生最後の行事となりました。（谷地館）

